

# TOTO

## 施工説明書

### 定量止水ユニット（自動水止めタイプ）

TH535-4型  
TH535-5型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

#### 警告

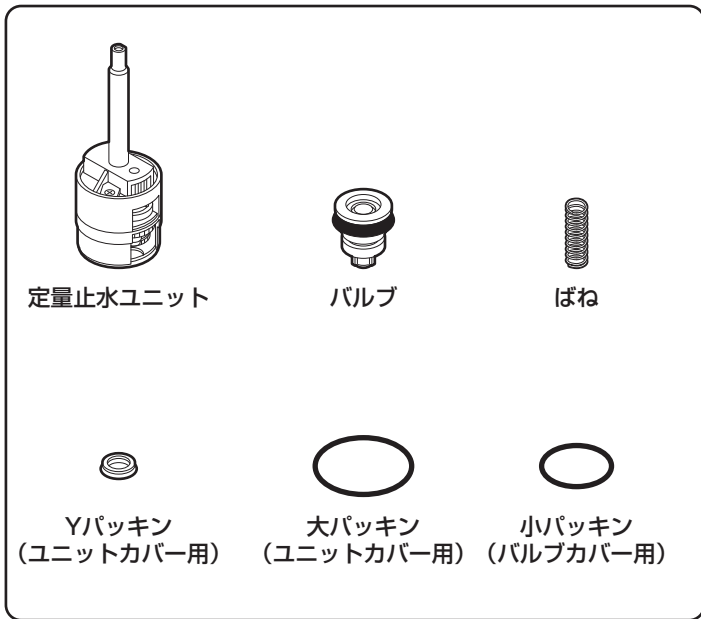


この説明書に記載された項目以外は分解しない  
破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財  
などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

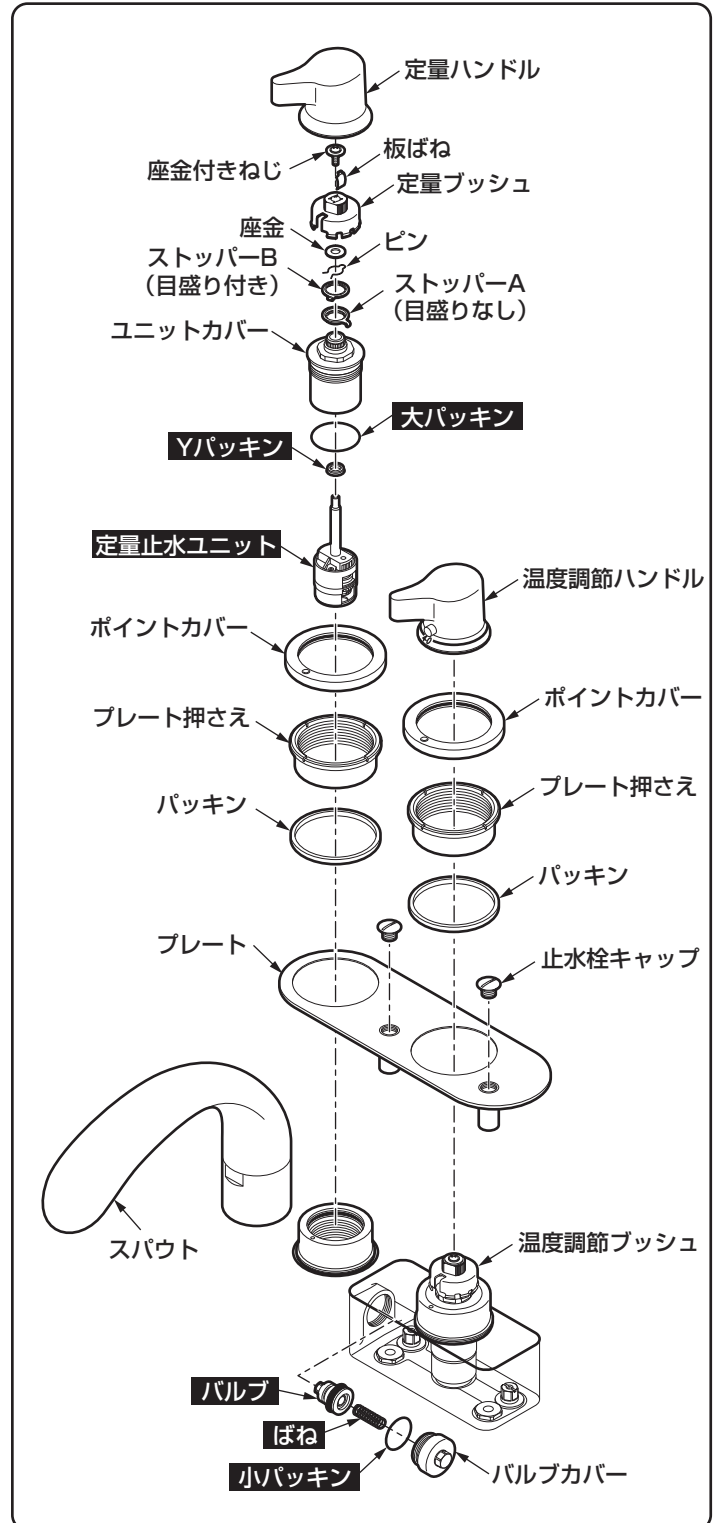
## 1 部品の確認

この定量止水ユニットは、サーモスタットバス水栓（自動水止めタイプ）の**台付きタイプ専用**です。

**壁付きタイプに組み込むことはできません。**



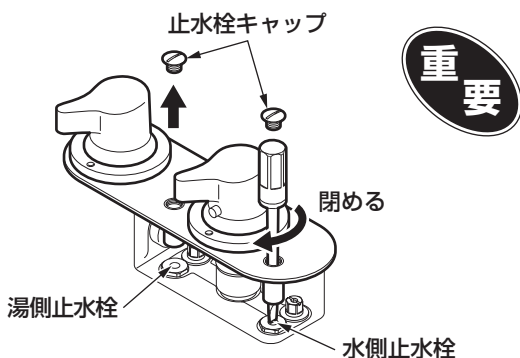
## 2 分解図



※図はRタイプです。（Lタイプは逆勝手になります）  
※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

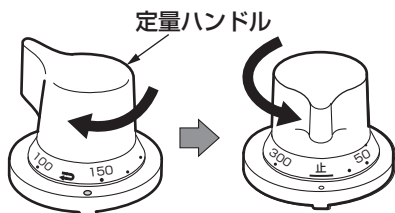
## 1 旧ユニットの取り外し

① 止水栓キャップを外し、止水栓(湯側・水側)を閉める。



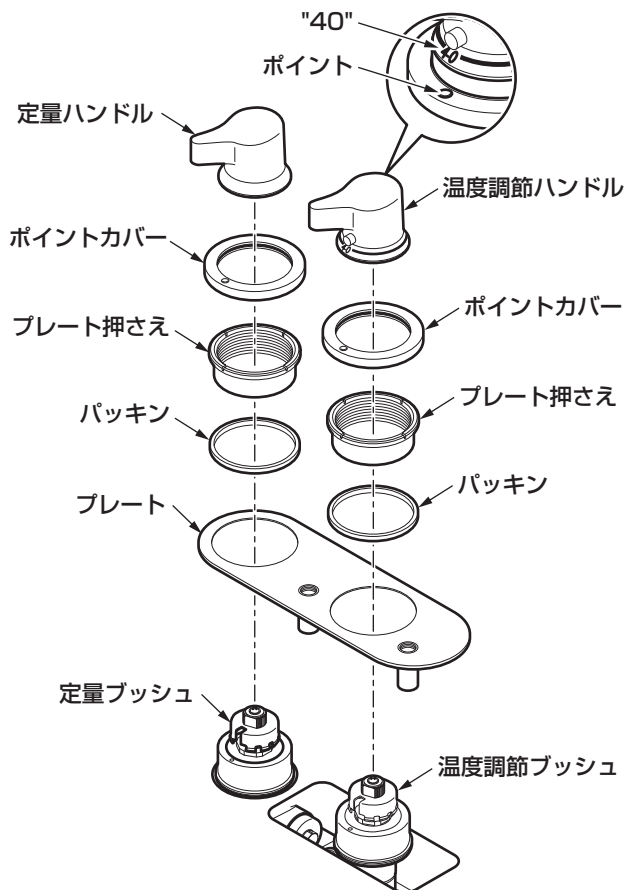
② 定量ハンドルを時計回りへ回し、スパウトから水が出ないことを確認する。

③ 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。



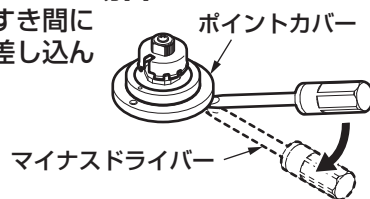
④ 温度調節ハンドルの目盛り"40"をポイントにあわせる。

⑤ 定量ハンドル・温度調節ハンドル・カバー・プレート押さえなどを取り外す。



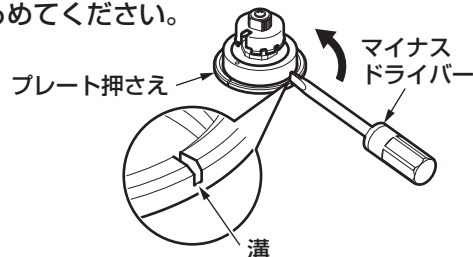
<ポイントカバーが外れない場合>

ポイントカバーの下のすき間にマイナスドライバーを差し込んで取り外してください。

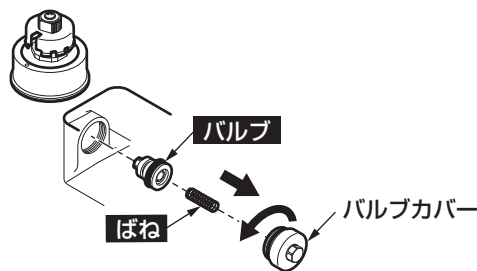


<プレート押さえが外れない場合>

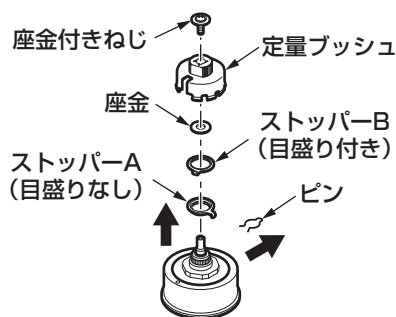
外周溝にマイナスドライバーを差し込んでゆるめてください。



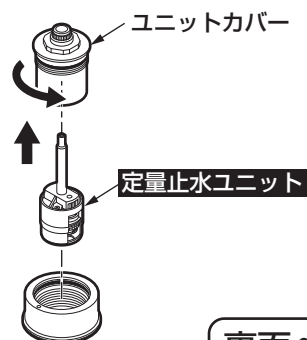
⑥ バルブカバーを開け、バルブ部を取り出す。



⑦ 座金付きねじ・定量プッシュ・座金を外し、ピンを抜いて、ストッパーB・Aを外す。



⑧ ユニットカバーをゆるめ、定量止水ユニットを取り出す。



## 2 新ユニットの取り付け

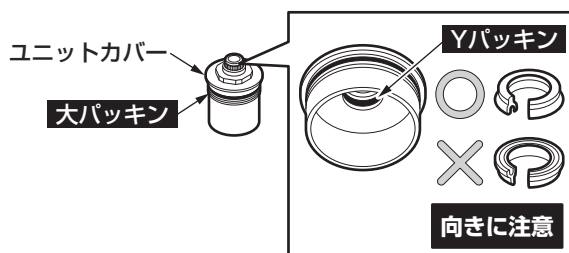
- ① 本体内部・ユニットカバー内部に異物の付着がないか確認する。

**注意**

異物が付いている場合は、水洗いして洗い流してください。



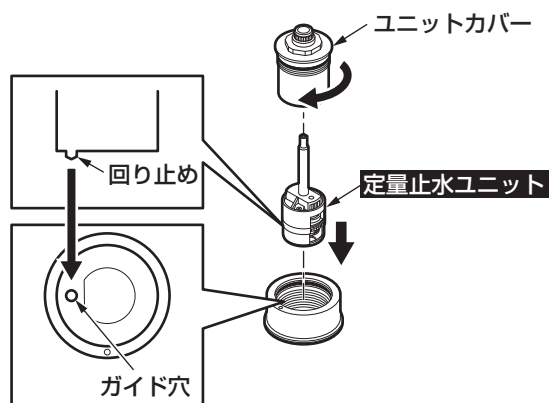
- ② ユニットカバーのYパッキン・大パッキンを新しいパッキンに取り替える。



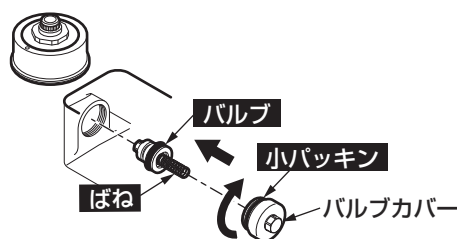
- ③ 定量止水ユニットの回り止めをガイド穴にあわせて組み込み、ユニットカバーを取り付ける。

**注意**

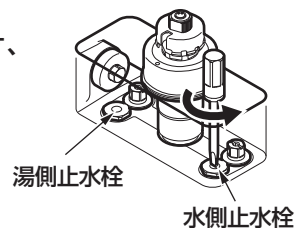
定量止水ユニットが回らないことを確認してください。回る場合は、左右に回しながらガイド穴を探って、確実に回り止めをガイド穴に入れてください。



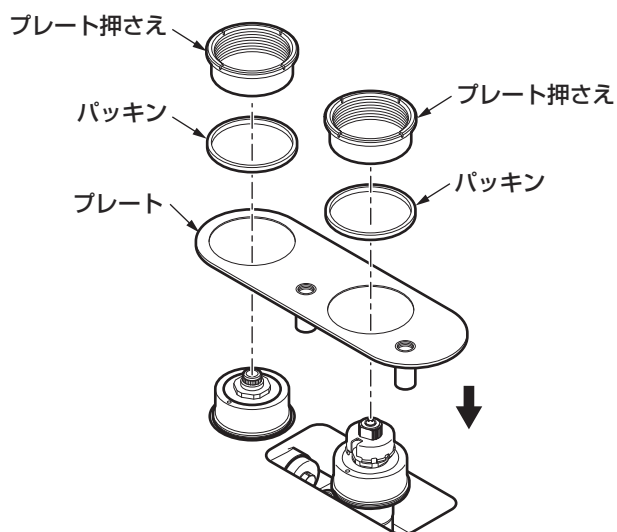
- ④ バルブカバーの小パッキンを新しいパッキンに取り替える。  
⑤ バルブにばねを組み込み、バルブカバーを取り付ける。



- ⑥ 止水栓(湯側・水側)を開け、水漏れがないか確認する。

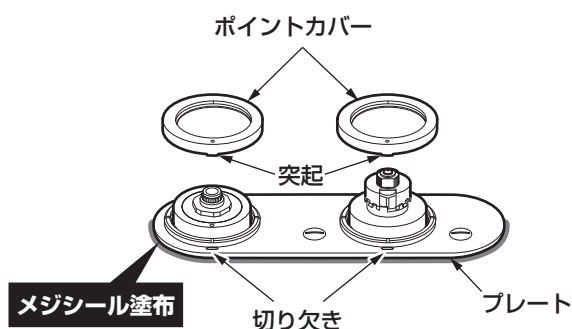


- ⑦ プレートをかぶせ、プレート押さえにパッキンを入れてねじ込む。



- ⑧ ポイントカバーの突起をプレートの切り欠きにあわせてはめ込む。

- ⑨ タイル目地のくぼみから水が入り込まないようにプレート周辺部にメジシールを塗布する。はみ出したメジシールはよくふき取る。



⑩ ストッパーA (目盛りなし) の端面 **A** をポイントにあわせ取り付ける。

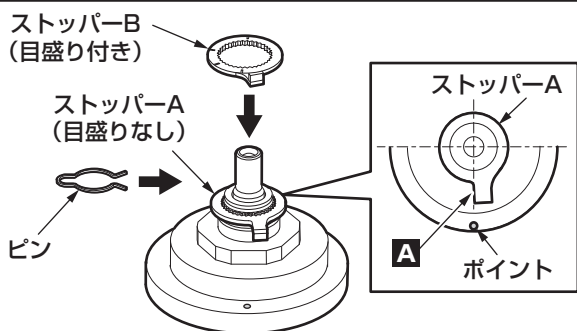
⑪ ストッパーB (目盛り付き) を適量位置にセットし、ピンで固定する。

ストッパーBの数字はおよその湯量 (L) を示します。数字は50単位になっていますが、10単位の設定が可能です。

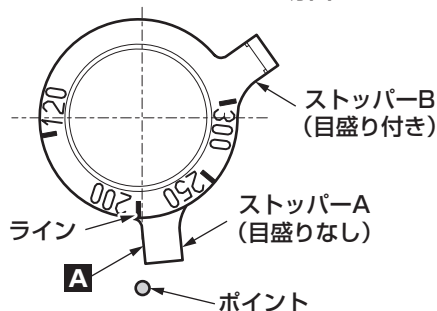
ストッパーAの端面 **A** とストッパーBのラインをあわせてください。

**注意**

ストッパーBを120以下にセットしないでください。自動止水しなくなります。



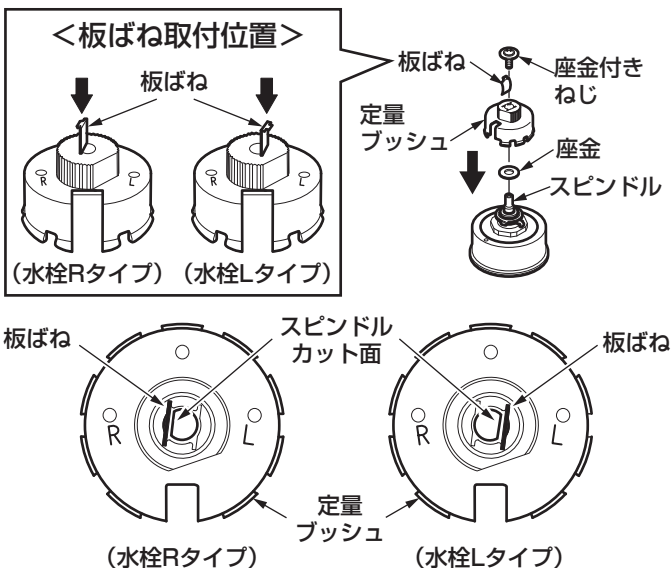
<200Lにセットした場合>



⑫ スピンドルのカット面と定量ブッシュの板ばね位置をあわせてはめ込み座金付きねじで固定する。

**注意**

定量ブッシュをはめ込む際、板ばねが外れた場合には、下図の向きにあわせて、板ばねを元どおりに手で押し込んでください。



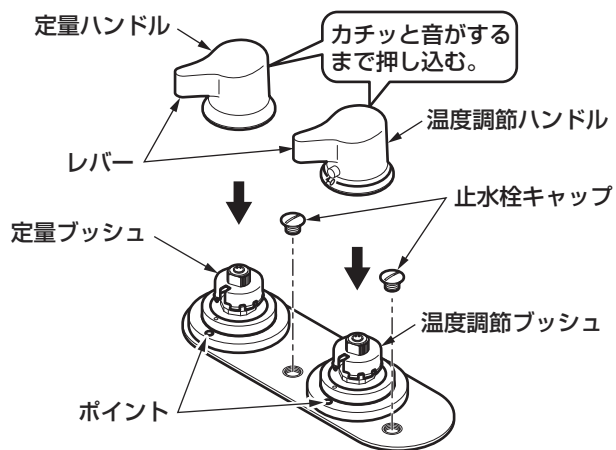
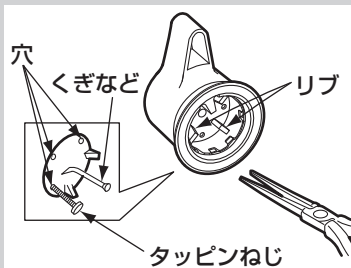
⑬ 各ハンドルレバーとポイントをあわせ、「カチッ」と音がするまで押し込み、容易に抜けないことを確認する。

⑭ 止水栓キャップを取り付ける。

**注意**

定量ブッシュを必ずスピンドルにねじ止めしてから、定量ハンドルを取り付けてください。直接定量ブッシュをハンドルに組み込むと取り付けるできません。

誤って取り付けた際にはハンドル取付用ブッシュ内側のリブ(4カ所)をラジオペンチなどで引っ張るか、穴にくぎやタッピンねじなどを通して、引っ張って外してください。



## 4 取り替え後の確認

### 水出しおよび吐水温度の確認

取り替えが完了したあと、定量ハンドルを回し、スパウトから水が出るか確認してください。

また、吐水温度が表示どおりになっているか確認してください。吐水温度が表示どおりになっていないときは、温度調節ハンドルを設定し直してください。

